

三島通庸、印南丈作、矢板武の胸像（那須塩原）



見守っている。3体の像は、それぞれ三島通庸、

那須野ケ原開拓に尽力

明治時代的那須野ケ原開拓に尽力した開拓者たち
のブロンズ像。那須塩原市の西那須野公民館にあり、今も地元の繁栄を

わがまちの像

47



126

小学校中学年向け
年組

（2022年8月10日付・下野新聞25面）

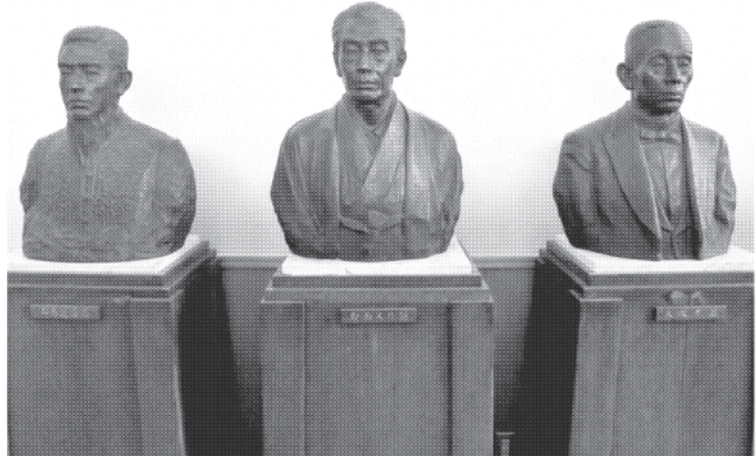
【メモ】那須塩原市太夫塚1の194の78。1967年の落成では開拓者の希望を表した像「望も披露され、現在は西那須野図書館の前に飾られている。

「三島地区を基盤の目のように整備したのを誰ですか。記事の中から探して書きましょう。」

旧西那須野町中央公民館の建設を契機に市民からの寄付金で建てられた。制作者は同町出身の彫刻家南庄作さん（1904～95年）で、1967年に落成した。その後、同公民館の廃止に伴い、3体の像は現在の西那須野公民館に移された。

3体のブロンズ像は、

うに整備して都市化するなど、地元の発展に貢献した。
印南と矢板も同様に、那須野ケ原開拓のための「那須開墾社」を結成。水源が乏しい草原を畑とし、農場のかんがいと飲用水のため那須疏水を整備した。
那須野が原博物館の松本裕之館長（57）は「地味な思いが強い」と話して起工した日に合わせて祭りが行われるなど、開拓



三島、印南、矢板（左から）の胸像

設問

- 【1】三島地区を基盤目のように整備したのは誰ですか。記事の中から探して書きましょう。
- 【2】印南丈作と矢板武が中心となり、農場のかんがいと飲用水の確保のために整備した水路を何というのでしょうか。記事から4字で抜き出しましょう。
〈言葉の意味〉かんがい…農作物を育てるのに必要な水を、水路を引くなどして与え、農地をうるおすこと
- 【3】次の文章のうち、記事から読み取れるものには○を、読み取れないものには×を書きましょう。
 - ・ア 三島通庸は、那須開墾社を設立した。（ ）
 - ・イ 印南丈作は栃木県令（知事）を務めた。（ ）

- ・ウ 三島通庸と印南丈作、矢板武のブロンズ像は、現在西那須野公民館に飾られている。（ ）
- ・エ 那須塩原市では、那須疏水が起工した日に合わせて祭りを行っている。（ ）
- 【4】この記事の内容として、正しい文は次のうちどれですか。記号で答えましょう。
 - ・ア 三島通庸と印南丈作、矢板武は3人で協力しながら西那須野公民館の建設を行い、現在も地元の繁栄を見守っている。
 - ・イ 三島通庸と印南丈作、矢板武は那須野ケ原の開拓に尽力し、三島地区のみ発展させた。
 - ・ウ 三島通庸と印南丈作、矢板武はそれぞれ三島地区の都市化や那須疏水の整備で那須野が原の開拓に尽力した。
 - ・エ 三島通庸と印南丈作、矢板武は那須野ケ原の発展を願い、開拓者の希望を表した像を制作した。